

山のおまわりさん

二年

東松島市立矢本西小学校

松本 有乃

わたしのおじいさんは山のおまわりさんです。なぜなら、大雨になるとみんなのためには山のパトロールをしているからです。おじいさんは、いつもは山でシヨベルカーにのってしごとをしています。でも、大雨のときには、どんなに土しゃぶりの雨でもまっくらな夜中でも、一人で山に行き、しばらくかえってきません。ふしぎに思ってた

2

あとに「何をしていたの」と聞くと、おじいさんは「山にふった雨をちようせいいけにためて、ポンプでくんで、水ろにながしていたんだよ」と教えてくれました。おじいさんに山につれて行ってもらうとき、空っぽの「ちようせいいけ」を見せてもらいました。わたしの家がすっぽり入りそうなく大きなあなでした。おじいさんは「そのあなが雨でいっぱいになるんだよ」と言いました。こんなに大きなあなが水でいっぱいにな

るなんて少しこわいなと思いました。少し前の台風の時には、山から水がながれてしまいい、山の下の家のお米がながされてしまったそうです。その時に、とてもかなしい気もちになつて、同じことがおきないように、わたしのおじいさんは、山でパトロールをがんばっていると言っていました。

3

おじいさんは、大雨のあと家にくるとき、よく「ねてないんだよ」とか「すごい大雨だった」とお母さんたちに話していましたが、

4

みんなのことをまもるためにがんばっているなんて知りませんでした。みんなをまもるしごとをしているおじいさんは、とてもかっこいいと思いました。

おじいさんは、とても天気にくわしいです。いつも雨がふる日を知っています。テレビで天気よほうをチェックしたり、スマホでしらべたりしているそうです。今までは、うらないしか見ていなかっただけど、これからはまい日天気よほうもチェックしようと思いました。